

2008年度 第2回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

- 開催日時：2008年5月13日（火） 午後7時15分～9時00分
- 開催場所：田無総合福祉センター 第3会議室
- 出席委員：阿部靖子、熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、中曽根聡
柳澤正樹、山下恭子、渡辺美恵<以上8名、敬称略、あいうえお順>
- 欠席委員：安岡厚子、飯塚 睦<以上2名、敬称略、あいうえお順>
- 事務局：丸木 敦（地域福祉課長）、中澤一郎（主事）、今林朝香（コーディネーター）
長山清美（コーディネーター） 篠原保之（係長）

■配布資料

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（4月）
- 資料 2：コーディネート状況等月次報告（4月）
- 資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表（5月）
- 資料 4：2008年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
- 資料 5：2007年度西東京ボランティア・市民活動センター事業報告（案）
- 資料 6：2007年度西東京ボランティア・市民活動センター決算（案）
- 資料 7：西東京ボランティア・市民活動センターアクションプラン（案）
- 資料別紙：2007年度第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開会の挨拶

委員長：本日、会議終了後テレビ局の取材が入ります。説明をお願いします。

事務局：TBSテレビ情報制作局よりボランティア活動に対する思いを番組にする企画があり、その情報収集のために委員会終了後委員の皆さんに取材をしたいと申し入れがありました。運営委員会を取材するのではなく、個々の委員の活動を取材したいとのことで、2名のスタッフが来る予定です。実際カメラも回していきますが、番組自体も製作過程の段階なのでご理解のうえご協力いただきたいとのことでした。

委員長：日曜午後11:30の枠という話は聞いています。なぜ西東京に声がかかったのかわかりませんが聞いてみたいと思います。ご都合のつく方は残っていただきたいと思います。

ご都合について、各委員から出欠の申し出がある。

委員長：それでは議事に入ります。次第の委員委嘱については、事務局より直接お渡しいただいたとのことなので割愛させていただきます。それでは報告からはじめてください。

1. 報 告 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告

- ① 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（4月）
事務局より報告。
 - ② コーディネート状況等月次報告（4月）
事務局より報告。
 - ③ 西東京ボランティア・市民活動センター予定表（5月）
事務局より報告。
- 質問等なく、終了。

(2). 理事会報告

○ 委員長より4月21日(月)に開催された理事会の報告が行われる。資料として20年度予算書と部署別事業計画が配布されたことが報告される。

委員長：西東京ボランティア・市民活動センターに関する事案はありませんでした。諸事情から西東京市社会福祉協議会が東町に土地を所有していましたが、買い手が見つかり転売が完了しました。今年度、会員増強に力を入れるため、理事会・評議員会の方も会員加入を推進していただきたい旨が話されました。運営委員の方もご協力をお願いしたいと思います。5月も理事会が開催される予定です。

質問はなく、報告を終える。

(3) 西東京市福祉部長との話し合い

4月24日(木)10:30、担当理事(当会委員長)と事務局長、総務課長、地域福祉課長の4名で話し合いを持つ。

委員長：西東京ボランティア・市民活動センターからは3点お話しさせていただきました。

1点目は、2008年2月の運営委員会で2008年度の活動方針を審議しましたが、その計画達成のための人材が1名減となったことについて遺憾の意を伝えました。

2点目は、2008年度に立ち上げられる予定の協働推進センター(仮称)の運営について、西東京ボランティア・市民活動センターとして積極的に担っていきたい意思を伝えました。

3点目は、現在の運営費について、自主財源を増やしていく努力は進めているものの、資金を稼いでいくとその分補助金が減らされていく現状について問題提起を行いました。

そのことに対しての福祉部長から回答がありました。

1点目については、そもそも昨年10月からの半年についてはトライアル的に考えていたが、4月以降も予算措置が続くと思われていたとすると困ってしまうとの話がありました。

2点目については、西東京ボランティア・市民活動センターならびに西東京市社会福祉協議会の意思はよく理解しました。今後の議論の中では、所管替えがあるのかないのかも話し合いたいとのことでした。福祉部長は以前に企画部の財政担当であったこともあり、一定の理解はしていただきました。西東京ボランティア・市民活動センターがボランティア支援だけではなく、市民活動も支えていることを福祉部に納得していただけるかどうかということもあり、活動についても説明を行ってきました。こちらの意向についても話を聞いてもらいました。

3点目については、予算の器が変わらないことは個人的にはよくわかるが、今後も話し合いを続けていきたいと思いますとの話がありました。

事務局：5月8日(木)の管理職会議で中間支援組織機能を担っていくために協働推進センター(仮称)の受託に手を上げていくことを確認しました。

委員長：協働推進センター(仮称)の検討委員会の第1回目の会合が5月29日に開かれることになりました。座長には東京ボランティア・市民活動センター副所長の安藤氏、検討委員には坂口、安岡両名の参加が決まりました。会議の内容については逐次報告をしていきます。事務局でも傍聴を予定しているとのことでした。

委員：企画政策課や生活文化課などは出席していたのですか。

委員長：話の名前が出てきただけで、出席はしていませんでした。

委員長：今後の話については、福祉部としても歓迎なので、進めていきたいと考えています。

質疑を終了し、報告を終える。

2. 審 議 事 項

委員長：審議に入る前に1点お願いします。報告事項と審議事項に次第が分かれていて、アクションプランについてが審議事項に入っていますが、審議事項とは承認するものと思います。アクションプランについてなどは、承認・了承とは意味合いが違うものなのでもう一つ協議

事項の項目を増やして報告、審議、協議事項に分けてみてください。では審議事項に入ります。

(1). 2008 年度第 1 回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録(未定稿)について

○2008 年度第 1 回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録の確認を行う。

委員長より訂正などの意見があるか確認が行なわれる。

●訂正、削除、追加などの意見なく、2008 年度第 1 回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録(未定稿)を(確定稿)とすることを承認する。

(2). 2007 年度西東京ボランティア・市民活動センター事業報告(案)について

○ 資料 5 に基づき、各担当職員から事業報告を説明する。

1 広報活動

<ぼらんていあ倶楽部発行>について

事務局：市民活動情報を多く取り扱うことを課題に進めてきました。アドボカシー機能については手がついていない状態です。

委員：市民活動の情報掲載はよくやられてきたと思います。紙面を使ってのアドボカシー機能とは具体的にどのようなものですか。

事務局：例えば、精神障がい施設の例で、障害者自立支援法施行の後に出てきた課題を掲載し、今現場の方たちが課題としていることを出していくことなどをイメージしています。

委員：今の紙面の中で違った面を掲載することは良いと思います。現実はどういうことが起きているのかは知りたいと思いますが、紙面のボリュームを考えると工夫をしないといけないのではないのでしょうか。

委員長：新しい制度についての紹介、素朴な疑問シリーズ、など面白い企画も考えられると思いますが、やはり今の紙面をどこか削らないと難しいと思います。

<西東京ボランティア・市民活動センター紹介号発行>

事務局：全戸配布後、反響が大きかったです。市民からの問合せが多く効果はあったのではないかと思います。

<IT の活用>

事務局：ブログを活用して、より親しみやすい内容のものを目指してきました。

委員長：ウェブサイトアクセス数は伸びているようですが、前年比としてはどうなのでしょう。

事務局：2007 年度からアクセス数をカウントしているので、前年比はとっていません。

委員長：トップページアクセス数を載せていますが、総ページビューでカウントしたほうが良いと思います。

<ふれあいのまちづくり「はくうんぼく」夕涼み会への参加>

委員：ふれまちなかで「はくうんぼく」のみ掲載しているのは理由があるのですか。

事務局：たまたま声をかけていただいたケースを掲載しました。

委員：もっと多くの地区で運営委員も活動に参加するなどして、広報活動を進めてみても良いのではないのでしょうか。PR グッズも揃えておけば良いと思います。

委員長：全部の地区を職員が担当しているのですか。

事務局：全地区を地域福祉推進係とボランティア市民活動センター係職員とで担当し、イベント等には必ずその職員も参加しています。チラシなどの相互協力は行っています。

委員長：年間でイベントはどのくらい行われているのですか。

事務局：地区によって毎年行っているところもありますが、季節行事は数地区のみになっています。フリーマーケットなども実施しています。

委員長：様々なイベントや会議に参加しているようですが、広報活動としての数字的な成果については、どのように考えていますか。

事務局：成果の数字的な分析とのご指摘ですが、会議に出るときなどは最初に「西東京ボランティア・市民活動センターを知っていますか」と聞いてみるようにしています。参加者全体の半分ほどはご存知なのですが、参加者には名前だけでも覚えてもらうようにはしています。

2 災害時に備えた取り組み

〈災害時のシステムづくり専門委員会の開催〉

事務局：2007年度はそれまでの毎月開催から隔月開催になりましたが、事務局で案をつくりご意見をいただく形ですすめました。

〈2007年首都圏統一帰宅困難者対応訓練に参加、実施〉

事務局：具体的な活動については幾つか事業報告に示しましたが、その集大成的な事業として「2007年首都圏統一帰宅困難者対応訓練」へ参加をしました。

〈災害被災地への職員派遣〉

事務局：新潟県刈羽村には東京都社会福祉協議会からの要請を受け職員1名を派遣しました。

〈別資料：地域防災計画、市報より〉

事務局：地域防災計画へのパブリックコメントを出しました。要支援者に対するものや災害ボランティア・センターに対するものを出しました。

委員：もっと具体的なものが欲しいのですが、資料はありますか。

事務局：西東京ボランティア・市民活動センターからの声が、どこの部分に反映されているかははっきりしていません。回答としてもこの内容が最終のものと考えられます。

委員長：大きな地震も起きていることもありますので、まだまだ考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

委員長：年度の記載を統一したほうが良いと思います。一般的には西暦を使うほうが主流になっていると思います。

3 講習会・学習会

〈地域プロデューサー講座〉

事務局：団塊世代をターゲットに企画をすすめてみました。全体を通して富士福祉事業団の枝見太郎氏にご協力をいただきました。11名が講座を修了されていて、現在メーリングリストを作成中です。人材育成の点では成果があったと思われます。

〈夏！体験ボランティア2007〉

事務局：受け入れ可能な施設すべてにボランティアが入っているわけではありません。受け入れのベースはありますので、今後参加者を増やしていくことが課題であると考えます。

〈春！体験ボランティア2008〉

事務局：こちらは受け入れ側・参加者ともに2年連続で少なかったため、2009年は開催しない予定です。

〈傾聴ボランティア養成講習会〉

事務局：計11回を開催しました。課題としては、地域包括支援センターとの連携が進んでいないと思われます。これまでに講習会を終了した人が4つのグループがボランティアグループをつくっています。グループ間の横の支援が課題になっていますが、次年度は合同で学習会が開かれる予定になっています。

〈街なかサロンにここでの講座〉

事務局：昨年から引き続いての活動となりました。規模は小さいのですが生の声を聞くことができました。精神障がいに対しての理解というテーマで行いました。当事者の参加が多か

ったのですが、同じ悩みを持つ方の仲間づくりの機会となったと思います。商店会の方々も参加者との接点をつくることができたのではないのでしょうか。

委員：にこにこは誰でも行くことができるのですか。

事務局：元々商店会活性のための拠点で、商店会が運営をしていたのですが、社協に運営が移りふれまちの拠点になりました。以前は毎日開けていましたが、社協運営になった後は毎日開けられていません。しかし、活動団体が増え現在ではほとんど毎日入れ替わりでどこかの団体が部屋を開けています。たまたま、たなし工房の方とかかわりがあり、市民の方に理解をしてもらいたいと昨年からシリーズで6回の講座を開くことができました。武蔵野大学の学生で運営するコミュニティーカフェうたたねが毎週土曜日に活動しています。自分たちでコーヒーを仕入れて活動しています。

委員：それ以外の団体はあるのですか。

事務局：水曜日の午後は西東京ボランティア・市民活動センターで相談受付という形でにこにこ職員がつめています。他に数団体が活動しています。

委員：もうすこし、様々な団体を組み合わせていくことができれば、楽しい活動拠点になるのではないのでしょうか。

事務局：これからは、子ども関係のイベントも考えています。

委員：その地域の昔話を紙芝居にして開催していくという企画が他区ではあるようです。お菓子問屋と協力して、紙芝居を定期的なプログラムにしています。いろいろな企画を考えてみたら良いと思います。

委員：なかなかサロンになりきっていないのではないのでしょうか。場の持っている開放性とかも関係しているかもしれないですね。

委員長：周辺に児童館やコミュニティーセンターもあるので、子ども関係の活動などは連携をしないといけないと思います。

<第6回地域ボランティアコーディネーター研修会>

委員：良い組織にむすびつけていただきたいと思います。

4 ネットワークづくり

<第7回ボランティアのつどい>

事務局：一般の参加者が少なかったです。会場については、昨年度の反省会でも出ていましたが、毎回ここ田無総合福祉センターなので別の建物で開催したいとの声はありましたが、同じくこの建物になってしまいました。

委員：一般の方の参加者が少なかったとのことでしたが、せつかくの企画なのに何が足りなかったと感じていますか。

事務局：広報活動の取り組みが遅かったと思います。会場が駅から遠かったこともあり、参加しなかったのかもしれない。当日、目立つように学生ボランティアに会場の外に立ってもらいましたが、あまり効果はありませんでした。お天気も良く、お出かけの方が多かったのではないかと思います。

委員：会場については、昨年の反省点でもあるのに、やはり同じ会場で開催したのはなぜなのでしょう。

事務局：広さの問題があると思われます。他の場所が押さえられないことも原因と考えられます。

委員：慣れたところとか、参加者が行きやすくするためとか、問題は広さではなかったと思います。そこを絞ってすすめてみたらどうでしょうか。

委員長：実行委員はリピーターが多いのですか。アスタのセンターコートなど先に場所を押さえてみたらどうですか。ファシリテートをしているのだから何を押さえていくのか良く話し合ってください。

<ボランティア活動者懇談会>

事務局：街なかサロンにこにこでの開催でしたが、西東京ボランティア・市民活動センターから離れていたこともあり、参加者も少なかったと思います。

<企業との連携・協力>

事務局：マックスバリュでは表記以外にも幸せの黄色いレシートキャンペーンが行われています。
軒下ふれあいバザーは、各団体とのつなぎの役割も持っていると思います。

5 児童、生徒の福祉教育への協力

〈総合的な学習の時間への協力〉

事務局：限られた学校の利用になっています。内容が福祉分野のみでの依頼となっています。

委員：固定的とか福祉色のみという報告がありましたが、それで良いのではないのでしょうか。
街には、段差・スロープ・冷たい視線など、様々な環境があります。形だけではなく心に響かせることが大切なのだと思います。福祉の視点が大事なのではないのでしょうか。
ここをベースに人権問題に展開することも考えられますし、これを暖かいものにしていけば良いのではないのでしょうか。

委員長：先生がどれだけやる気があるかも重要だと思います。すすめかたをアドバイスしても良いと思います。他社協の話なども聞いてみてはどうでしょうか。

委員：今までやってきていない学校には、きちっと営業を進めても良いのではないのでしょうか。
市内の多くの学校にすすめてもらいたいと思います。校長会などでも話してみても良いのではないのでしょうか。

委員長：やはり、先生がその気になってくれないと進まないと思います。頑張ってください。

委員：内容については学校から提案があるのですか。

事務局：昨年までのものを引き継ぎたがる傾向はあると思います。運良く同じ先生が2,3年続けて担当していただくことができれば、次のステップになるのですが、なかなか展開していないのが現状です。

委員：具体的な活動を教えてください。

事務局：谷戸小などでは、当事者のお話も入れてすすめているところもあります。

委員長：ニーズ、引き合いはあるのだから、積極的にすすめてほしいと思います。

〈都立高校奉仕活動教科への協力〉

事務局：目白大学、武蔵野大学との協力関係ができてきています。

委員：西東京市以外の学校ですが、表記の都立高校については学校側から相談があったのでしょうか。

事務局：生徒が西東京市から通っているところもあります。近隣のボランティア・市民活動センターには話をしていたようです。学校側からは、学校の運営委員の依頼もありました。

委員：この学校の生徒たちは、その後体験ボランティアなどに参加をしたりはしているのでしょうか。また、私立などは話があるのでしょうか。

事務局：ボランティア参加については、つながってはいません。また、私学については、話はありません。

委員長：元々、奉仕教科は都立高校のみの教科なので、私学の高校の話はないと思います。

6 ボランティア活動・市民活動の相談・コーディネートの状況

事務局：登録カードを市内各施設においてもらっていることは増加につながっていると思います。
継続的な活動の依頼が多くなっています。

7 ボランティア・市民活動センター（活動室）の運営

〈活動室利用状況〉

事務局：田無活動室ではレイアウトを変更し、ロッカーと活動室を分けました。ロッカーについて、利用団体が増えていっぱいになってきました。保谷活動室は秋に移転（東分庁舎地下）の予定があります。その準備を進めています。

〈機材の貸し出し〉

事務局：メールボックスの貸し出しを行っています。プロジェクターを中心に利用数が徐々に増えています。

8 調査活動

〈市民活動団体状況調査〉

事務局：98 団体から回答をいただきました。2008 年度も調査活動を続ける予定です。

9 関係団体、機関との連絡調整

事務局より、口頭説明。

10 運営組織

事務局より、口頭説明。

11 財源づくり

事務局より、口頭説明。

12 事業評価

委員長：評価シートは各事業ごとにすすめられているのですか。

事務局：2007 年度は新規事業のみ実施しました。必要性は感じているので、今年度は全事業において取り組んでいきたいと思います。

各委員からの意見をうけ、報告書(案)の訂正の指摘（青年会議所の表記、年号の統一）を修正し承認。

(3)．2007 年度西東京ボランティア・市民活動センター決算報告（案）について

事務局より資料 6 について、経理区分間での補正処理のことなどの説明を行う。
全会一致で承認。

(4)．西東京ボランティア・市民活動センター 3 ヶ年アクションプランについて

事務局より、今回提示の資料 7 について説明を行う。

委員：アクションプランとは行動計画。全体の目指している方向に向けて年度ごとの重点事業をあげていると思いますが、その枠の中でこれをとる、これはやらないという選択をしたのですか。

事務局：絞り込んだというものではありません。まず、これをやらなければというものをあげてみました。

委員長：各項目について、具体的なものが話されていると思います。人材バンクという考え方とボランティア登録との違いなど様々な論議があると思いますが、次回以降の運営委員会で引き続き話し合いを進めたいと思います。今日は一旦終わりにしたいと思います。

3. そ の 他

(1)．次回運営委員会開催日程について

次回の運営委員会の確認を行う。

- 日時 6 月 10 日（火）19:15～21:00
- 会場：田無総合福祉センター 第 3 会議室

以上をもって、2008年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し散会する。